

テレビ信州 長野県選出国会議員 アンケート

**政党 :** \_\_\_\_\_ **党 氏名 :** \_\_\_\_\_ **議員** \_\_\_\_\_

- ① 世界平和統一家庭連合(以下、旧統一教会)、  
または関係団体から選挙活動への支援を受けたことはありますか

1. はい      2. いいえ

- ② 旧統一教会、または関係団体のイベントや会合に出席、  
あるいは祝電やビデオメッセージを送ったことはありますか

1. はい      2. いいえ

- ③ 以下は 2で「はい」と答えた方のみ、記入ください  
いつ、どこで開かれた、どのようなイベントで、何を行いましたか

( )

- ④ 関わりを持ったきっかけは また、どのような依頼がありましたか

( )

- ⑤ 旧統一教会、あるいは関係団体と知っていて、接点を持ったのですか  
当時を振り返って、現在はどのような思いですか

( )

- ⑥ 今後の関係について、どのようにしていきますか

( )

ご協力 ありがとうございました

## テレビ信州 長野県選出国会議員 アンケート

立憲民主党 篠原 孝

① 2 いいえ 支援・応援ともに受けたことはありません

② 1 はい ①イベントの出席はしたことがありません。②18年前の2004年11月21日に、今回の調べで関係団体の可能性があることが判明した団体に、祝電を送ったことわかりました。③しかしビデオメッセージは送ったことはありません。

(注)共同通信社の同様のアンケートに、祝電を打っていたことから「はい」と返答したところ、8月14日の信濃毎日新聞が県関係議員の一覧表に「ビデオメッセージ・祝電等を送ったことがある」とされ、解説する文章の中まで全く同様に表現されました。読者は私がビデオメッセージを送ったと勘違いされ、そんな親しい関係なのかと抗議の電話がきました。

ビデオメッセージは、出席したいのにやむをえない事情で出席できないので、ビデオの挨拶を当日流してもらうべく送ると理解されます。結婚式でも事件のきっかけとなった安倍首相の同団体への会合へのビデオメッセージでもわかる通り、いわば特別扱いです。従って祝電とビデオメッセージを一緒にするのはよくないと思います。祝電(メッセージ)は形式的なもの、ビデオメッセージは出席かそれ以上であり、視聴者・読者にもそのように認識されています。

③ 2004年11月21日にホテル国際21で開催された

「平和統一聯合」第十四連合会及び長野・群馬・新潟県本部結成大会に祝電(別紙)を送りました。

- ④ 18 年前の国會議員 1 期生の頃で、当時事務所の秘書 2 人も新人ばかりで、祝電の依頼のあったもの全てに対応していたと思われます。当時の秘書は既に離職しており依頼の経緯については今となってはわかりません。
- ⑤ 当時の電文からもわかる通り、平和統一聯合の「結成大会」で、朝鮮の「平和的統一」を趣旨とする設立されたばかりの団体だったようです。“統一”違いで、関係団体と知る由もなかったと思われます。(参考 メッセージ文)
- 知識不足であったとはいっても、当時良かれと思い「平和」を願って送ったメッセージが、18 年経ち、まるでその親団体と濃密な関係があるかの如く取り上げられていることに本当にやるせない思いでいます。
- また、関係性も、献金、パーティ券の購入、選挙応援、会費の支払いといった関係の深いものと、形式的な祝電や機関誌のインタビュー記事の掲載と一緒に扱うのはいかがかと思います。私も、立憲民主党の幹事長代行として、この問題を取り仕切り、党が責任を持って調査し、関係者がわかつたら直ちに記者発表をしています。その際に、関係性の濃淡の頭の整理に使った表を参考までに添付します。(参考 関係性 表)
- ⑥ 信仰の自由は憲法で保障されていますが、社会的に問題のある団体とは関係を持つべきではないと考えています。ただ、こうした団体の政治へのアプローチは今後も続くものと思われます。特に注意が必要すべきことは、こうした団体が、手を変え品を変え、名前までも変えて様々なアプローチをしてくることです。今回関係団体として名前の挙がった名称は、今後は使われずに新たな名前や新たな趣旨で関係を持とうとすることが予想されます。尚一層の注意を払い、一切関係を持たぬよう気をつけたいと思います。
- 尚、私共普段からお付き合いに慎重な国會議員の事務所でさえ、知らぬうちこうした団体に巻き込まれます。調査の術のない一般の方はなおさらだと思いますので、注意喚起を促していきたいと思います。

## メッセージ

「平和統一聯合」第十四連合会及び長野・群馬・新潟県本部結成大会が盛大に開催されましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

本日の大会が、朝鮮半島の平和的統一へ向かう礎となるよう祈念いたしております。

二〇〇四年十一月二十一日

衆議院議員 篠原 孝